

## 研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

転移性脳腫瘍患者における予後因子としての好中球リンパ球比と血小板リンパ球比

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2012年3月～2017年12月に当院で転移性脳腫瘍に対して放射線治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

#### 目的

転移性脳腫瘍の治療は手術や放射線治療と状況に応じて様々ありますが、いずれの場合も正しい予後予測が必要不可欠です。近年、治療開始前の好中球リンパ球比および血小板リンパ球比は、様々な癌における全生存期間と相関することが報告されています。しかし、転移性脳腫瘍患者で確認した報告はほとんどありません。

一般診療として採血項目の好中球、血小板およびリンパ球は日常臨床で検査される頻度の高い項目で、それらで予後予測を行えるならば追加コストも必要ないため、臨床応用に非常に有用です。本研究の目的は、過去に放射線治療を受けた患者を調べて好中球リンパ球比と血小板リンパ球比が予後因子であるかどうかを評価することにあります。

#### 方法

電子カルテから血液データを調べ、好中球とリンパ球および血小板とリンパ球の比率を計算します。それぞれの比は原発腫瘍診断時と転移性脳腫瘍診断時の2点で算出し、それらの時点から死亡時もしくは最終生存確認日までの期間を分析します。

#### 研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後 ～ 2021年12月31日

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

- ・ 性別
- ・ 病理データ（癌腫、組織型、サブタイプ）
- ・ 死亡日、最終生存確認日
- ・ 原発腫瘍治療前データ（診断された日付、年齢、血算生化）
- ・ 転移性脳腫瘍治療前データ（診断された日付、年齢、血算生化、KPS、脳MRI/CT画像）
- ・ 放射線治療情報（照射技法、処方線量）

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

氏名：新谷 暁史（研究責任者）

電話番号：03-3784-8570